



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 バルテス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4442 URL <https://www.valtes.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 真史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 西村 祐一 TEL 06 (6534) 6561
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	2,290	—	92	—	90	—	61	—
2019年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 61百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 —百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	9.33	9.24
2019年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2019年3月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年3月期第2四半期の数値及び2020年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,786	1,083	60.7
2019年3月期	1,167	414	35.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 1,083百万円 2019年3月期 414百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	4,496	37.1	277	47.4	277	48.4	194	31.3	円 銭 28.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	7,150,000株	2019年3月期	7,150,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	245,700株	2019年3月期	1,250,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	6,593,657株	2019年3月期2Q	5,900,000株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

四半期決算補足説明資料は、2019年11月27日（水）に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

（四半期決算説明会開催について）

当社は、2019年11月26日（火）に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善等を背景に国内の景気は緩やかな回復基調が続いておりますが、東アジアの地政学的リスクや米中の貿易問題等、依然として先行きが不透明な状況にあります。

一方、当社グループが関連する情報サービス市場では、IoT、AI、フィンテック、5G等、IT技術の積極的な活用をテーマに企業の投資が拡大しており、今後もさらなる発展が見込まれております。また、それらの発展に伴うIT技術の高度化・複雑化により、ソフトウェアの品質向上やセキュリティ対策へのニーズも高まり続けており、第三者検証の専門企業の担う役割もさらに広がるものと考えております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、グループスローガンであります「VALTES for Quality Confidence (バルテスグループを通じてお客様の品質に対する自信を揺るぎないものに)」の下、高スキル技術者の確保とサービス品質の向上を重点課題と位置付けております。

技術者の確保に関しまして、多様な採用チャネルと外部協力会社との連携強化により技術者数が大きく増加しており、それに伴い2019年5月に東京第3テストセンターを開設、同8月に福岡オフィスを増床移転いたしました。

また、サービス品質向上の点では、当社独自の研修プログラムが業界未経験者を含む新規採用者の短期間での安定稼働とJSTQB(※1)の高保有率(入社2年目以降の正社員は92%超)に繋がっており、日本企業唯一のISTQB

(※2)グローバルパートナーとして、ソフトウェアテストの国際標準を意識した取組みを行っております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,290,982千円と堅調に伸長し、外注費、採用費、研究開発費等の増加を吸収した結果、営業利益92,899千円、経常利益90,213千円、親会社株主に帰属する四半期純利益61,513千円となりました。

※1「Japan Software Testing Qualifications Board」の略 テスト技術者の資格認定制度の運営団体

※2「International Software Testing Qualifications Board」の略 国際ソフトウェアテスト資格認定委員会

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①ソフトウェアテストサービス事業

当事業においては、エンタープライズ領域の成長が全体を牽引し、技術者の確保も順調に進んだため、外部顧客に対する売上高は2,089,293千円、セグメント利益は114,950千円となりました。

②Web/モバイルアプリ開発サービス事業

当事業においては、グループシナジーを活かした営業体制が奏功し、外部顧客に対する売上高は188,335千円、セグメント利益は16,987千円となりました。

③オフショアサービス事業

当事業においては、一部案件の検収が第3四半期連結会計期間以降となった影響等により、売上高は13,353千円、セグメント損失は6,548千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は1,455,829千円となり、前連結会計年度末に比べ573,260千円増加いたしました。これは主に現金及び預金の増加524,227千円によるものであります。固定資産は330,995千円となり、前連結会計年度末に比べ45,783千円増加いたしました。これは主に有形固定資産の増加51,068千円によるものであります。

この結果、総資産は1,786,824千円となり、前連結会計年度末に比べ619,044千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は692,393千円となり、前連結会計年度末に比べ13,435千円減少いたしました。これは主に買掛金の増加41,407千円、未払法人税等の減少34,915千円、その他の流動負債の減少28,998千円によるものであります。固定負債は10,510千円となり、前連結会計年度末に比べ36,732千円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少36,081千円によるものであります。

この結果、負債合計は702,903千円となり、前連結会計年度末に比べ50,167千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,083,921千円となり、前連結会計年度末に比べ669,212千円増加いたしました。これは主に自己株式の処分による資本剰余金の増加584,772千円、親会社株主に帰属する四半期純利益61,513千円の計上による利益剰余金の増加、自己株式の減少22,697千円によるものであります。

この結果、自己資本比率は60.7% (前連結会計年度末は35.5%) となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末より524,227千円増加し797,197千円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は18,385千円となりました。これは主に税金等調整前当期純利益90,213千円を計上し、仕入債務の増加額41,407千円等があった一方で、法人税等の支払額58,128千円、売上債権の増加額39,229千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は41,386千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出35,459千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により得られた資金は547,303千円となりました。これは主に自己株式の処分による収入603,585千円があった一方で、長期借入金の返済による支出55,961千円等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2019年8月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	292,969	817,197
受取手形及び売掛金	518,032	555,469
電子記録債権	10,860	12,576
仕掛品	14,641	17,111
その他	46,065	53,474
流動資産合計	882,568	1,455,829
固定資産		
有形固定資産	84,511	135,579
無形固定資産	7,248	6,642
投資その他の資産		
繰延税金資産	113,950	108,464
その他	79,502	80,309
投資その他の資産合計	193,452	188,773
固定資産合計	285,211	330,995
資産合計	1,167,780	1,786,824
負債の部		
流動負債		
買掛金	73,263	114,670
短期借入金	86,500	86,500
1年内返済予定の長期借入金	49,063	29,183
未払金	258,443	275,009
未払法人税等	58,127	23,212
賞与引当金	72,240	84,627
その他	108,189	79,190
流動負債合計	705,828	692,393
固定負債		
長期借入金	42,331	6,250
その他	4,912	4,260
固定負債合計	47,243	10,510
負債合計	753,071	702,903
純資産の部		
株主資本		
資本金	90,000	90,000
資本剰余金	167,345	752,117
利益剰余金	183,373	244,887
自己株式	△28,250	△5,552
株主資本合計	412,468	1,081,451
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	2,240	2,469
その他の包括利益累計額合計	2,240	2,469
純資産合計	414,708	1,083,921
負債純資産合計	1,167,780	1,786,824

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,290,982
売上原価	1,676,377
売上総利益	614,604
販売費及び一般管理費	521,704
営業利益	92,899
営業外収益	
受取利息	5
助成金収入	2,593
その他	122
営業外収益合計	2,721
営業外費用	
支払利息	561
支払保証料	995
株式交付費	3,553
為替差損	297
営業外費用合計	5,408
経常利益	90,213
税金等調整前四半期純利益	90,213
法人税、住民税及び事業税	23,213
法人税等調整額	5,486
法人税等合計	28,699
四半期純利益	61,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	61,513

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	61,513
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	229
その他の包括利益合計	229
四半期包括利益	61,743
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	61,743
非支配株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2019年4月1日
至 2019年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	90,213
減価償却費	13,030
賞与引当金の増減額(△は減少)	12,394
受取利息及び受取配当金	△7
支払利息	561
株式交付費	3,553
売上債権の増減額(△は増加)	△39,229
仕掛品の増減額(△は増加)	△2,492
仕入債務の増減額(△は減少)	41,407
未払金の増減額(△は減少)	△11,360
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,433
その他	△19,570
小計	77,065
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△559
法人税等の支払額	△58,128
営業活動によるキャッシュ・フロー	18,385
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△35,459
無形固定資産の取得による支出	△2,334
敷金及び保証金の差入による支出	△3,652
敷金及び保証金の回収による収入	60
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,386
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△55,961
自己株式の処分による収入	603,585
その他	△321
財務活動によるキャッシュ・フロー	547,303
現金及び現金同等物に係る換算差額	△74
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	524,227
現金及び現金同等物の期首残高	272,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,197

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月30日に東京証券取引所マザーズに上場しており、それに伴い2019年5月29日を払込期日とする公募による自己株式の処分及び2019年6月28日を払込期日とするオーバーアロットメントによる当社株式売出しに関連した第三者割当による自己株式の処分を行っております。当該自己株式の処分等により、当第2四半期連結累計期間において資本剰余金が584,772千円増加、自己株式が22,697千円減少し、当第2四半期連結会計期間末において資本剰余金が752,117千円、自己株式が5,552千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ソフトウェア テスト サービス	Web/ モバイル アプリ開発 サービス	オフショア サービス	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,089,293	188,335	13,353	2,290,982	—	2,290,982
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,666	19,968	6,268	30,903	△30,903	—
計	2,093,959	208,304	19,622	2,321,886	△30,903	2,290,982
セグメント利益又は損失 (△)	114,950	16,987	△6,548	125,390	△32,490	92,899

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△32,490千円は、セグメント間未実現利益の調整額89千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△32,580千円であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。